

環境配慮型プリントで印刷して、一緒に脱炭素に貢献しませんか

印刷物のカーボンフットプリント算定 / 森林吸収クレジットでカーボンニュートラル化

脱炭素とビジネスの両立を目指す 印刷業界団体の設立



株式会社 光陽社



会社概要

会社名	株式会社 光陽社
代表者	犬養 岬太
設立	昭和24年10月21日
本社所在地	〒113-0034 東京都文京区湯島2-16-16
工場所在地	〒357-0069 埼玉県飯能市茜台2-1-2
事業所・営業所	関西事業所 : 〒550-0012 大阪市西区立売堀4-5-21 名古屋営業所 : 〒460-0008 名古屋市中区栄2-11-7
資本金	1億円
事業内容	企画、デザイン、DTP、製版、印刷、デジタルコンテンツ制作、 サイン・ディスプレイ、オンデマンドPOP、ノベルティ制作
従業員	201名（2024年3月現在子会社含む）





株式会社光陽社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

SDGs 宣言

光陽社は、常に生産工程を見直すことで環境への負荷を低減させるとともに、健康経営を軸とした従業員とその家族の幸せづくり、福祉施設と連携した地域社会への貢献など、これまでも様々な活動に取り組んでまいりました。今後も、SDGs(持続可能な開発目標)に賛同し、経済、環境、社会のあらゆるニーズにおいて、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に向けて積極的に取り組んでまいります。

2021年10月1日
SDGs推進本部 本部長
代表取締役 犬養 岬太

2020年 10月
政府による2050年カーボンニュートラル宣言

**世間はコロナ禍の真っ只中で、
DX(デジタルトランスフォーメーション)とペーパーレス化が進む状況**



さらに印刷物削減の動きが加速する危機

**環境に配慮した印刷工場であること
環境に優しい印刷物を作れること**

そして、最も大切なことは



**環境に優しい印刷物を使っていることを
お客様がアピールできること**

弊社のカーボンニュートラル実現に向けた取り組み



- 2021年 10月** 再エネ100宣言 RE Actionへ参加
Scope1,2のCO2排出量を実質ゼロにした工場で印刷する『**カーボンゼロプリント**』を提供開始
- 11月** 自社工場の常備紙(コート・マット)を全てFSC®認証紙へ
- 2022年 3月** GXリーグの基本構想に賛同
- 4月** 全社再生可能エネルギーに切り替え
印刷物のライフサイクルにおける『**CO2排出量算定サービス**』を開始
算出したCO2排出量をオフセットできる『**カーボンニュートラルプリント**』を提供開始
SBTより、中小企業向け検証ルートにおける認定を取得
- 5月** 気候変動イニシアティブ(JCI)に加盟
- 6月** 会社全体のCO2排出量(Scope1,2,3)の見える化
- 8月** 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)提言へ賛同するとともに、TCFDコンソーシアムに加入。
- 9月** 飯能プリンティングセンターBASEにEV(電気自動車)を導入
- 12月** 『**日本サステナブル印刷協会**』発足
- 2023年 1月** 飯能プリンティングセンターBASEにEV用急速充電器を設置完了
- 7月** 飯能プリンティングセンターBASEの屋根に太陽光パネルを増設稼働



SPA-230001-J



SPA-230001-J



弊社工場の印刷物に表示可能な環境系マークなど



※ このラベルはサンプルです。

FSC® マーク

「FSC CoC 認証」は、適切に管理された森林から切り出された木材やその他管理された原材料を、製品になるまで途切れさせることなく繋がれたことを証明する国際的な認証制度です。



植物油インキマーク

印刷インキに含まれる石油系溶剤から発生するVOC(揮発性有機化合物)を抑制するため、弊社は植物油インキを採用しています。



ノンVOCインキ

ノンVOCインキとは、構成成分中の高沸点石油系溶剤を植物油等に置き換え1%未満に抑えることで、VOC(揮発性有機化合物)の発生を抑制したインキです。



P12D0031301B
この印刷物は、リサイクル印刷版を使って印刷しています。

PLATE to PLATE アルミリサイクルシステム

使用済CTP版のクローズドループリサイクルシステムである「PLATE to PLATE システム」を採用し、CTP版製造に係るCO₂の削減に貢献しています。



GREEN PRINTING JPFI
P-B10145
この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。

GPマーク

弊社工場は、日本印刷産業連合会の「日印産連『オフセット印刷サービス』グリーン基準」を達成した工場に与えられる「グリーンプリンティング工場」認定を取得しています。



バイオマス
使用部位：インキ
No.180006
※ このラベルはサンプルです。

バイオマスマーク

生物由来の資源(バイオマス)を活用し、品質および安全性が関連する法規、基準、規格等に適合している環境商品に付与できるマークです。弊社の使用しているUVインキは、この基準を満たしております。



ボタニカルインキ

インキに含まれる成分の一部を従来の石油由来材料から植物由来材料に変えることで、植物が吸収したCO₂と印刷物を焼却した際に発生するCO₂を相殺し、大気中に発生するCO₂の削減に寄与するインキに付与できるマークです。



SIAA マーク

SIAA マークは抗菌製品技術協議会が定めた3つの基準(抗菌性、安全性、適切な表示)に対し、その全ての基準を満たした製品だけに表示できるマークです。

各種イニシアティブへの参加



「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」提言へ賛同するとともに、「TCFDコンソーシアム」に加入いたしました。今後、TCFDの提言に基づき、気候変動が当社事業にもたらすリスクや機会を分析するとともに、関連する情報開示を拡充してまいります。



再エネ100宣言RE Actionに参加しています。弊社は2023年4月に全事業所の電力を100%再生可能エネルギーに転換することを目標に活動を開始しましたが、脱炭素社会の早期実現に向けその活動を加速させ、2022年4月より全事業所の電力を100%再生可能に転換いたしました。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2022年4月に、CO2削減目標について「SBTi」より、中小企業向け検証ルートにおける認定を取得しました。

【SBTi CO2排出量削減目標】

Scope1とScope2のGHG排出量を2020年の基準年から2030年までに42%削減し、Scope3の排出量を測定して削減する。

JAPAN
CLIMATE
INITIATIVE

JCIの宣言「脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加する」に賛同し参加を決定いたしました。



当社の取り組みと「GXリーグ基本構想」の目指す社会が、合致すると考え賛同を決定いたしました。

飯能プリンティングセンターBASEの取り組み ①

工場の屋根全面へ太陽光パネル設置

カーボンニュートラル実現に向けたCO2排出量削減の取り組みとして、飯能プリンティングセンターBASEの屋根太陽光パネルを全面に増設し、自社で発電しています。この太陽光パネルで工場で使用する電力の、10～15%を発電しています。



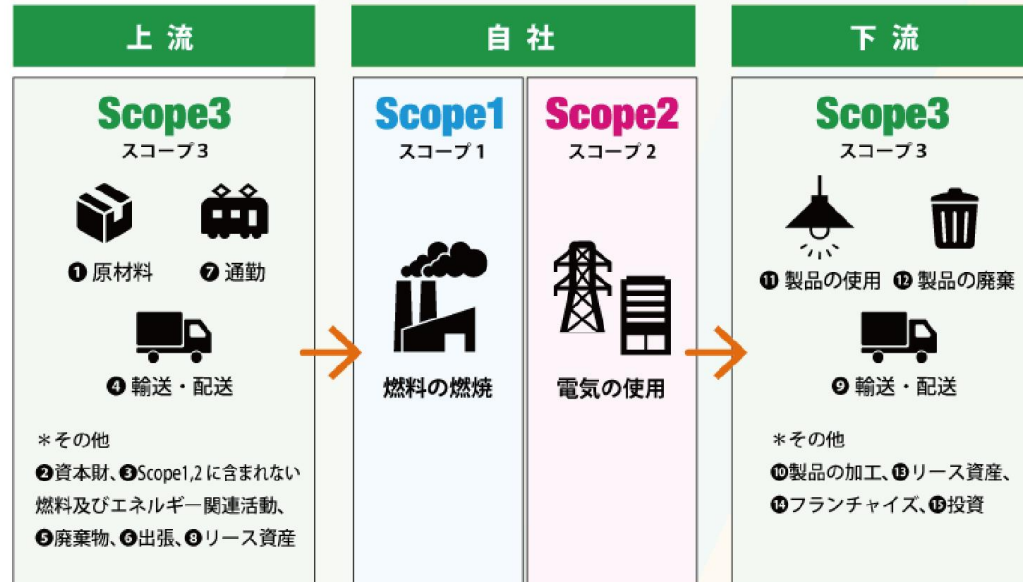
飯能プリンティングセンターBASEの取り組み ②

電気自動車と急速充電器の導入

2022年9月に社用車にEV(電気自動車)を採用し、2023年1月に飯能プリンティングセンターBASEに急速充電器を設置いたしました。EVは、東京事業所と飯能プリンティングセンター間の社内便(原稿・刷り本等の運搬)として使用しています。再生可能エネルギーとEVの組み合わせで、エネルギー起源のCO₂排出量削減と、排気ガスによる大気汚染防止に貢献いたします。



全社におけるカーボンニュートラルへの取り組み



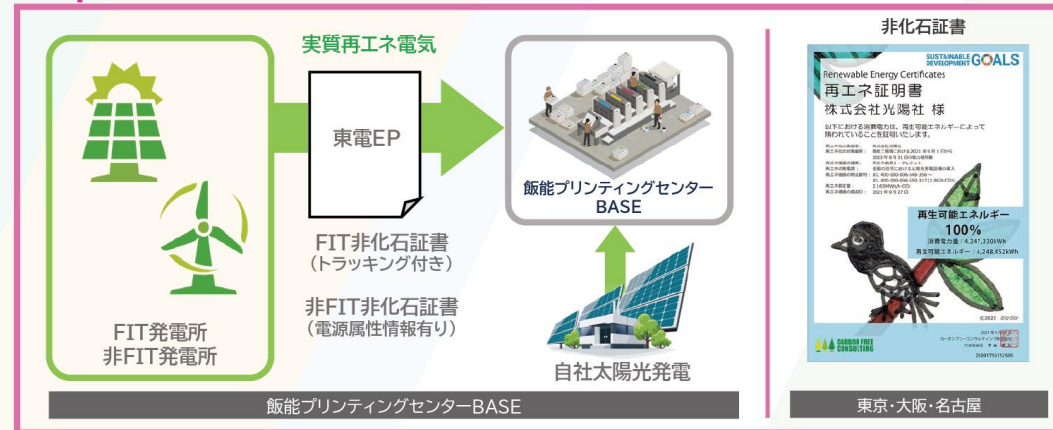
弊社では、飯能プリンティングセンターBASEにおいて、太陽光発電装置を設置するなど、生産活動で発生するCO₂の削減に努めています。更に、2022年4月からは供給電力を非化石証書付きの再生エネルギーに切り替えるとともに、各事業所の電力は非化石証書にてオフセットすることで、全事業所にて再生エネルギー100%を達成しました。また、2022年7月からは、全事業所のScope1を全てカーボン・オフセットいたしました。

印刷工場と
全事業所の
カーボンゼロでの
稼働を実現

Scope1



Scope2



2021年10月サービス開始



カーボンゼロプリント

CARBON ZERO PRINT

Scope1,2のCO2排出量を実質ゼロにした工場で印刷した
印刷物に表示する『カーボンゼロプリント』マークを策定



SPA-230001-J

カーボンゼロで稼働する工場で印刷して、CO2削減への貢献をアピール!

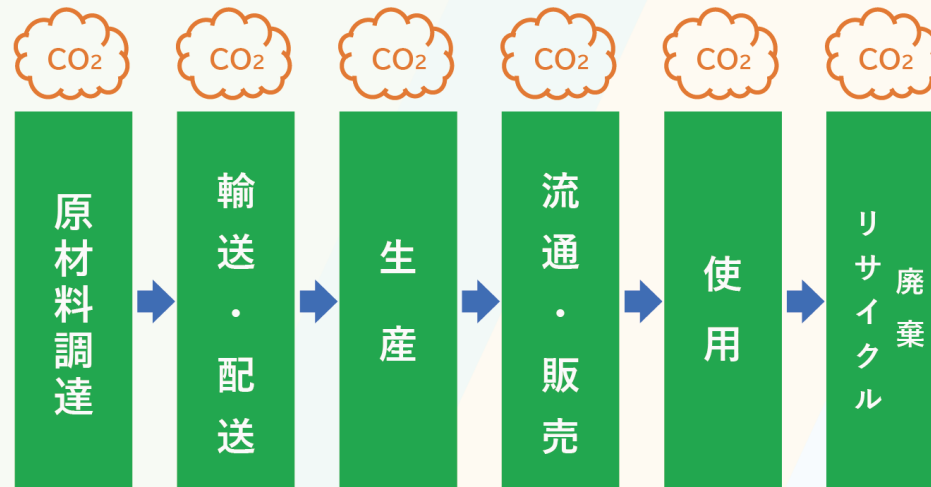
環境負荷の低い印刷業者を選ぶことがSDGsへの貢献につながります。

環境負荷の低い印刷物の証しとして、ぜひカーボンゼロプリントのマークを表示してください。

※ 企業が自ら環境配慮を主張する自己宣言型の環境ラベルです。

印刷物のCO₂排出量を算定して「見える化」

弊社では、印刷物のライフサイクル全体のCO₂排出量を算定して、
お客様の印刷物に表示することができます。



印刷物のライフサイクルにおけるCO₂排出量

弊社工場の特長

- 全社Scope1, 2のCO₂排出量が実質ゼロで稼働
- 徹底した管理による印刷時のインキと水の使用量削減
- 刷版はリサイクルの完全無処理サーマルCTPプレートを採用し、現像液やガム液がいっさい不要になり、廃液もゼロとなることから、環境への負荷を排除しています。

環境に配慮した工場だから
印刷物のCO₂排出量が少ない

印刷物のCO₂排出量を「見える化」し、カーボンニュートラルの実現に貢献！

CO₂排出量を「見える化」することは、カーボンニュートラルの実現を目指すための意識変革をうながす手助けになります。

カーボンゼロプリントのCO2排出量の表示例

カーボンゼロプリントのロゴマークの横に、
CO2排出量を表示することが可能になりました。

● 下記仕様の印刷物のCO2排出量を表示する場合

印刷物	ページ数	印刷部数	用紙	CO ₂ 排出量	弊社削減量※	実質排出量	1部あたりのCO ₂ 排出量	1部あたりのCO ₂ 削減量	1部あたりのCO ₂ 実質排出量
A4中綴じ	16ページ	3,000部	コート紙 76.5kg	582.6kg-CO ₂	103.0kg-CO ₂	479.6kg-CO ₂	0.194kg-CO ₂	0.034kg-CO ₂	0.160kg-CO ₂

※弊社削減量：電力、CTP版など



SPA-230001-J

CARBON EMISSION

0.194 ▶ 0.160 kg-CO₂/copy

この印刷物は、Scope1,2のCO₂排出量が実質ゼロで稼働するカーボンゼロプリント工場で印刷しています。

CZP-000000000

印刷物のCO2排出量の「見える化」は、カーボンニュートラルの実現の第一歩！

※ 企業が自ら環境配慮を主張する自己宣言型の環境ラベルです。

※ CO2排出量の算定方法に関してコンサルティング会社の監修を受けていますが、算定結果においては、第三者検証を受けていない自己宣言の数値になります。

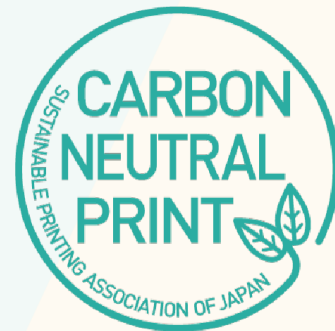
2022年4月サービス開始



カーボンニュートラルプリント

CARBON NEUTRAL PRINT

印刷物のライフサイクルにおけるCO₂排出量を算定し
有償でカーボン・オフセットするサービス



SPA-230001-J

CARBON EMISSION

0.160 kg-CO₂/copy ▶ 0

この印刷物は、CO₂排出量を算定し
カーボン・オフセットすることで、CO₂
排出量を実質ゼロにしています。

CNP-000000000

印刷物のCO₂排出量をすべてカーボン・オフセット! CO₂排出量を実質ゼロにする印刷

森林吸収系のJクレジットでカーボン・オフセットするので、森林経営への貢献もアピールできます。

「カーボンニュートラルプリント」マークを表示することで、カーボンニュートラル実現への貢献をアピールできます。

※カーボン・オフセット(森林クレジット)の目安(12,000円~/t-CO₂) ※企業が自ら環境配慮を主張する自己宣言型の環境ラベルです。

※ CO₂排出量の算定方法に関してコンサルティング会社の監修を受けていますが、算定結果においては、第三者検証を受けていない自己宣言の数値になります。

環境配慮型プリントの採用実績 (2024年1月現在の光陽社実績)



SPA-230001-J

**カーボンゼロプリント
採用実績**

99 件



SPA-230001-J

**カーボンニュートラルプリント
採用実績**

24 件

※ 新規顧客との商談数 毎月40件前後

1社で環境ラベルを展開する上での問題点

認知度

認知度の拡大に限界がある。

信用度

1社単独で展開している環境ラベルは信用しにくい。

多品種対応

自社で生産できないものの算定ができない。

印刷業界の 97.3% が
100人未満の中小企業が占め、
独自で脱炭素に取り組むための
人材の捻出が難しい。

2022年12月

印刷物をカーボンニュートラルに
することを目指して、
日本サステナブル印刷協会を、
発足いたしました。

SPA

Sustainable Printing Association of Japan

日本サステナブル印刷協会

日本サステナブル印刷協会は、ライフサイクルアセスメント(LCA:Life Cycle Assessment)の手法を用い、個々の印刷物から発生する温室効果ガスの排出量をカーボンフットプリント(CFP:Carbon Footprint of Products)の数値として見える化する仕組みを提供いたします。その排出量は森林経営を支援することで全量オフセットし、印刷物のカーボンニュートラル化を実現いたします。また、カーボン・オフセットに頼るだけではなく、再生可能エネルギーの積極的な導入や省資源化の推進など、環境問題への具体的な取り組みを実施することで、環境に配慮した印刷物の普及を図り、印刷業界の健全な発展と社会貢献に寄与します。

<https://www.spa-jp.org/>

日本サステナブル印刷協会 事務局

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-16-16 ヒラヤマビルディング(光陽社内)

mail : contact@spa-jp.org



カーボンゼロプリントマーク
Scope1,2 の CO₂排出量が
実質ゼロで稼働するカーボン
ゼロプリント工場で印刷した
製品に表示するマーク。



カーボンニュートラルプリントマーク
印刷物のライフサイクルにおける CO₂
排出量を算定し、全量をカーボン・オフ
セットすることでカーボンニュートラル
にした製品に表示するマーク。

SPA

Sustainable Printing Association of Japan

日本サステナブル印刷協会

【正会員】

株式会社光陽社 / 株式会社サインアーテック

株式会社セントラルプロフィックス / 株式会社研文社 / 株式会社丸信

弘和印刷株式会社 / 株式会社山櫻 / 東京平版株式会社 / 株式会社トーダン

株式会社CCG HONANDO / 欧文印刷株式会社 / セキ株式会社

新日本カレンダー株式会社 / 株式会社ユーメディア / ホクエツ印刷株式会社

2024年3月現在、正会員は15社で、弊社と同じ商業印刷の企業もあれば、
封筒、パッケージ、ラベル、サイン、カレンダーと、
多品種のカーボンニュートラルに対応可能な印刷業界団体となりました。

SPA

Sustainable Printing Association of Japan

日本サステナブル印刷協会

【賛助会員】

2024年3月現在

株式会社小森コーポレーション

株式会社 SCREEN GP ジャパン

サカティンクス株式会社

コニカミノルタジャパン株式会社

株式会社吉田商会

CO2排出量算定式の第三者検証
サプライチェーンへの波及
カーボンニュートラル対象製品の増加
etc.

ご清聴ありがとうございました。

**紙製品のカーボンニュートラル化に興味のある方は、
日本サステナブル印刷協会にご連絡ください。**



<https://www.spa-jp.org/>